



INVESTOR IN PEOPLE

● EPODOC / EPO

PN - JP57051346 A 19820326
PD - 1982-03-26
PR - JP19800125790 19800910
OPD - 1980-09-10
TI - PREVENTION OF RADIO DISTURBANCE
IN - SANO SADA0
PA - SANKYO ALUMINUM KOGYO KK
IC - E04B1/62 ; H01Q17/00 ; H05K9/00
FT - 5E321/AA44 ; 5E321/BB01 ; 5E321/BB44 ; 5E321/CC03 ; 5E321/GG05
- 5J020/AA03 ; 5J020/BA06 ; 5J020/BA07 ; 5J020/CA01

● WPI / DERWENT

TI - Prevention of multipath interference - by placing wave reflection plate on outer wall of building
PR - JP19800125790 19800910
PN - JP57051346 A 19820326 DW198218 014pp
PA - (SANY) SANKYO ALUMINIUM IND CO LTD
IC - E04B1/62 ; H01Q17/00 ; H05K9/00
OPD - 1980-09-10
AN - 1982-F1754E [18]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-51346

⑬ Int. Cl.³

E 04 B 1/62

H 01 Q 17/00

H 05 K 9/00

識別記号

庁内整理番号

6702-2E

7190-5J

6332-5F

⑭ 公開 昭和57年(1982)3月26日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑮ 電波障害防止方法

高岡市早川70番地三協アルミニウム工業株式会社内

⑯ 特 願 昭55-125790

⑰ 出 願 昭55(1980)9月10日

⑱ 発 明 者 佐野貞夫

⑲ 出 願 人 三協アルミニウム工業株式会社
高岡市早川70番地

明 細 書

1. 発明の名称

電 波 障 害 防 止 方 法

2. 特許請求の範囲

建造物の屋外側壁に電波反射用壁面を形成し、この壁面の電波反射面を上空へ向くように傾斜させることにより、電波を上空へ反射させるようにしたことを特徴とする電波障害防止方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、テレビの受信に際して発生する画像のゴースト現象を解消するための電波障害防止方法に関するものである。

近年建造物の高層化が急速に進むとともに、その周辺におけるテレビ電波の受信障害が増加しており、なかでも建造物に反射した電波が原因となるゴースト現象を解消する効果的な手段はこれまで存在しなかった。

そこで本発明は、このようなゴースト現象を解消し、希望する電波だけをキャッチして鮮明な画像を得ることのできる電波障害防止方法を提供することを目的として、その方法に独自の工夫を凝らしたものである。

即ち、本発明方法は、建造物の屋外側壁に電波反射用壁面を取付け、この壁面の電波反射面を上空へ向くように傾斜させることにより、電波を上空へ反射させるようにしたことを特徴とするものである。

更に本発明方法を図に従って説明すれば、(1)は高層建造物であり、この屋外側壁(2)に形成される電波反射用壁面(3)は、多数本の金属製パネル(4)を横架することによって構築されるが、具体的には第3図に示すように、屋外側壁(2)に沿う支柱(5)を電波反射用壁面(3)が上空へ向くように傾斜させて立設し、この支柱(5)にパネル取付け用保持体(6)を固着し、この保持体(6)にパネル(4)を取付けるのである。

尚、パネル取付け用保持体(6)は堅固縁(9)を介

して固着され、パネル(4)はそれ自体の持つ弾性力と、二股状にした保持体(6)の持つ弾性力とによって、保持体(6)の係止部(7)へ嵌着される。上記係止部(7)は各々上方へ向いた傾斜部(4)を有し、従って、当該係止部(7)に嵌着されたパネル(4)の電波反射面(4)は上空へ向くことになるのである。

このように嵌着されたパネル(4)が上下に連なることによって総体的に電波反射用壁面(3)を構成するのである。

図示した実施例は電波反射用壁面(3)自体が傾斜しているが、本発明はこれに限定されず、当該壁面(3)が垂直壁を形成し、壁面(3)を構成する各パネル(4)が傾斜する場合も含む。

このように電波反射面(4)を上空に向けたので、第1図に示すように従来反射波(8)として受信されていた電波は、第2図に示すように上空へ反射させられるので、希望波(10)だけを確実に受信することができるのであり、テレビにはゴースト現象は発生せず鮮明な画像を映すことができるのである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来のゴースト現象を発生する原因を示す概略図、第2図は本発明方法を示す概略図、第3図及び第4図は電波反射用壁面の一例を示す要部断面図である。

符 号

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 建 造 物 | (2) 屋 外 側 壁 |
| (3) 電波反射用壁面 | (4) パ ネ ル |
| (4) 電 波 反 射 面 | |

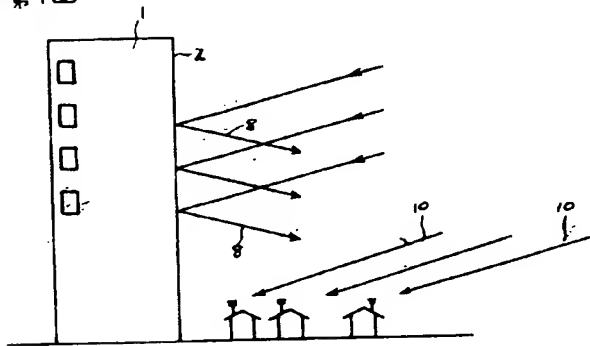
特許出願人

三協アルミニウム工業株式会社

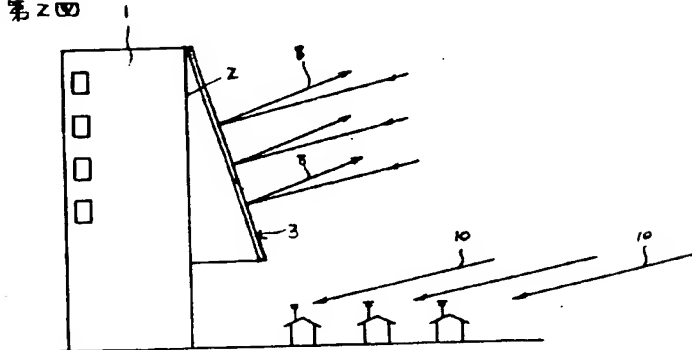
代 表 者 沖

外 夫

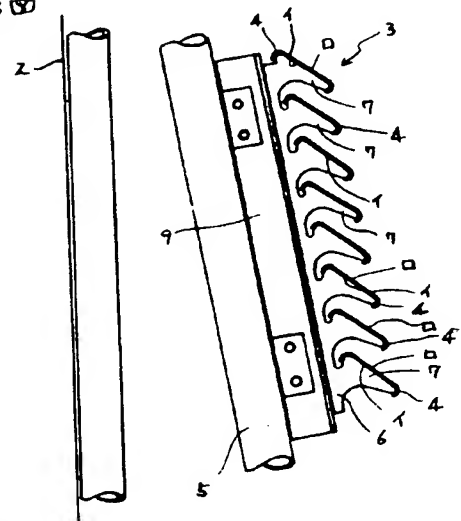
第1図



第2図



第3図



第4図

